

事業実績報告書

様式2
(2019年度後期)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-65	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日	2020.3.8	団体名・企業名	名古屋工業大学ごきそ技術士会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

本講座では、主に名古屋工業大学の教員やごきそ技術士会の多分野の専門家が市民向けの講演を試みます。高度な技術社会といわれる現在を振り返りつつ、今話題になっているテクノロジーのホットな議論に分け入って話題提供します。そして、モノを創る人とそれを利用する人とのコミュニケーションにより、必ず存在するリスク共有を図り、名古屋の安全・安心を見通します。今回は、新しい初登壇として技術士2人をお願いして、環境保全への数値を使った取り組みや、高齢化・老朽化のすすむかつての夢の街の改造技術の紹介を企画しました。



※写真1の説明

2019.11.16 第2回講座「水環境を数値化してみ」を梶田佳揮技術士が語った。

※写真2の説明

2020.1.18 第4回講座「地球温暖化問題」で現世代の役割を熱く語る石塚幹剛技術士。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

今回は新しい講師を2人にして講座計画を立てました。同時に受講者増を企図して、前半の3回を名古屋工業大学の教室使用を大学にお願いして、学外者ではあるが大学OBが母校で講演する形式を実現しました。このことで、受講者の1.3倍化を目指したが、会場の認知の低さと、教室という環境もあつてか受注者の感心をつかみきれなかった。また、コロナウィルス感染拡大対策として第6回目の中止も重なり、全体としては受講者数を伸ばすことができなかった。しかしせっかく獲得した会場を適宜活用して、古巣の会場・サンデンと教室を使い分けて運営していく予定です。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・環境にやさしい家電の知識に対して、電気料金が安くなった原理がよく理解できた。
- ・水質管理では、その基準が国際標準であるのかどうか等に関心があった。
- ・SDGsの中で、特に水に関係する話が出なかったのが残念だった。
- ・BODやCOD、重金属等の実際の測定機器やそれを使った方法を見たかった。
- ・我が国の高齢化社会の現状と課題のポイントがよく整理され提言もあるいい講演だ。
- ・環境課題の総合的な話で大変充実した内容だと感じた。若い世代の受講が望まれる。